



広報

いんち

11

1995. No.293

◎発行と編集／新地町役場・企画振興課（〒979-27 福島県相馬郡新地町谷地小屋字萩崎40 ☎024462111・FAX623194）



涙の感動を呼んだ

『大島 彰ふれあいコンサート』

町文化祭では『大島 彰ふれあいコンサート』が10月28日、農村環境改善センターで行われ、町民約350人が鑑賞しました。

大島先生は、生まれながら全盲という大きなハンディを負いながらも、ひたすら前向きに努力して、電子オルガンを演奏します。

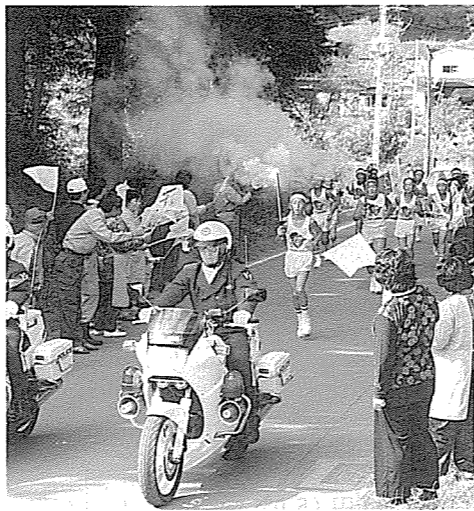
コンサートは、生育暦、人生論をお話ししながら「歌謡曲」「子供の歌」「お母さんにまつわる曲」などを熱演し、鑑賞者の中には、涙しながら感動する方もありました。

主な内容

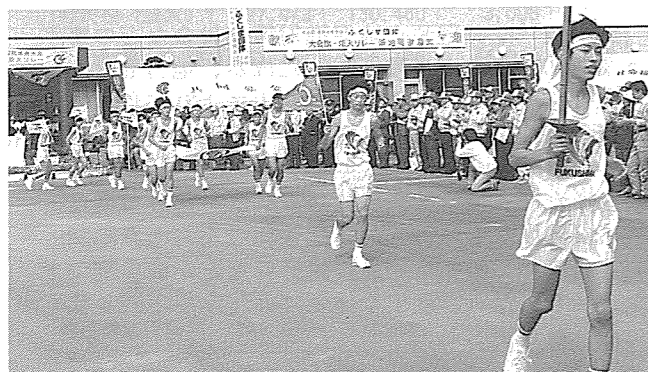
ふくしま国体大会旗・炬火リレー	2～3
平成6年度一般会計決算	4～5
町の話	10～11
お知らせ	12～13



▲今日のキミは光ってるよ (尚英中)



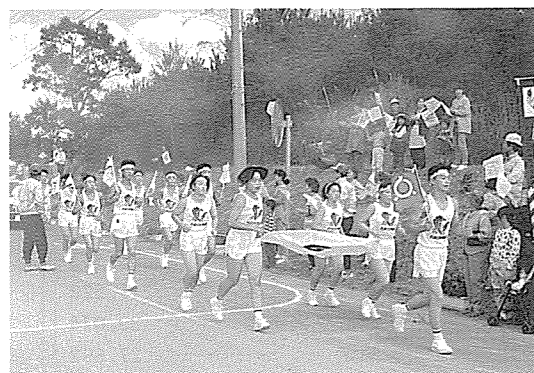
▲沿道でたくさんの声援ありがとう (福田小)



▲みんなの応援を受け「さぁ頑張るぞ」(尚英中)



▲あともう少し、皆で頑張ろう！(福田小)



▲さわやかな風を切って走る (新地高)



▲炎が燃え上がる炬火の点火 (新地高、駒ヶ嶺小)



▲特養ホームの皆さんも旗を振って応援しました



▲きつい登り坂を一生懸命走りました (駒ヶ嶺小)



▲相馬市から炬火を引き継ぐ荒町長

84人が声援受け力走

神楽や演奏で走者激励

第50回ふくしま国体 大会旗・炬火リレー



▲大平洋をバックに走るって最高!! (一般)



▲機敏な動作がステキ (一般)



▲さあ、私たちの番よ (新地小)



▲小学校PTAと町民の翼団員の創作ダンス



▲荒町長に炬火を引き継ぐ新地小の井上くん



▲福田十二神楽を披露



▲「ウイングポップス」がバンド演奏

ました。また、歓迎式では、農村環境改善センターで行われ、バンド演奏、福田十二神楽、創作ダンスが披露されました。午後二時十七分、県トラック協会駐車場で鹿島町へ引き継がれ、無事終了しました。沿道での声援、交通規制等ご協力をいただきありがとうございました。

「ふくしま国体」大会旗・炬火リレーが、町では十月十日、秋晴れた体育の日に開催されました。午前十一時二十八分、相馬港野球場で相馬市から炬火を引き継ぎ、八十四人のランナーが町内のコース六区間九・二キロをリレーしました。ランナーの日ごろの練習の成果が現われ、機敏な動作でとどおりなく行われ

〔特別会計〕

(単位：千円)

区分	歳入	歳出	差引残高
国民健康保険特別会計	512,049	509,848	2,201
老人保健特別会計	654,752	654,752	0

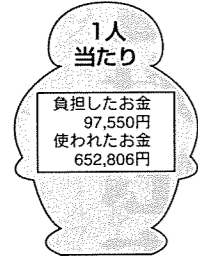
〔税の負担状況〕

(単位：千円)

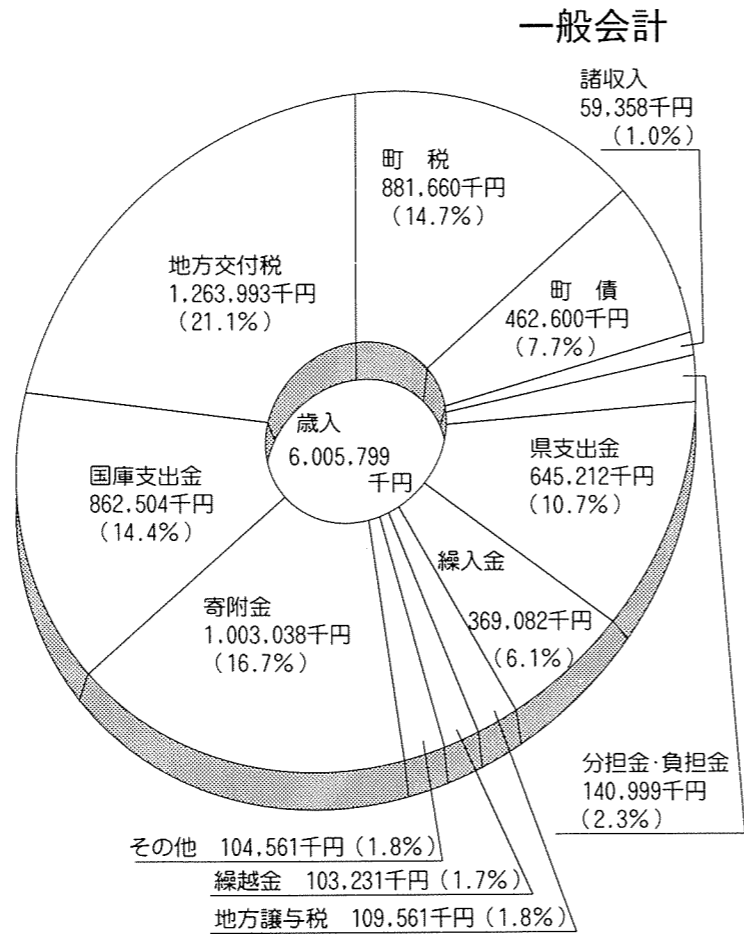
税目	平成5年度 収入額	平成6年度 収入額	増減	伸率 (%)
町民税(個人)	232,260	210,875	△21,385	△9.2
町民税(法人)	127,472	130,480	3,008	2.4
固定資産税	451,167	495,196	44,029	9.8
交付金	14	14	0	0
軽自動車税	11,556	11,924	368	3.2
町たばこ税	31,040	30,941	△99	△0.3
特別土地保有税	1,971	2,230	259	13.1
計	855,480	881,660	26,180	3.1
国民健康保険税	161,475	177,349	15,874	9.8

〔人口と世帯割で見ると〕

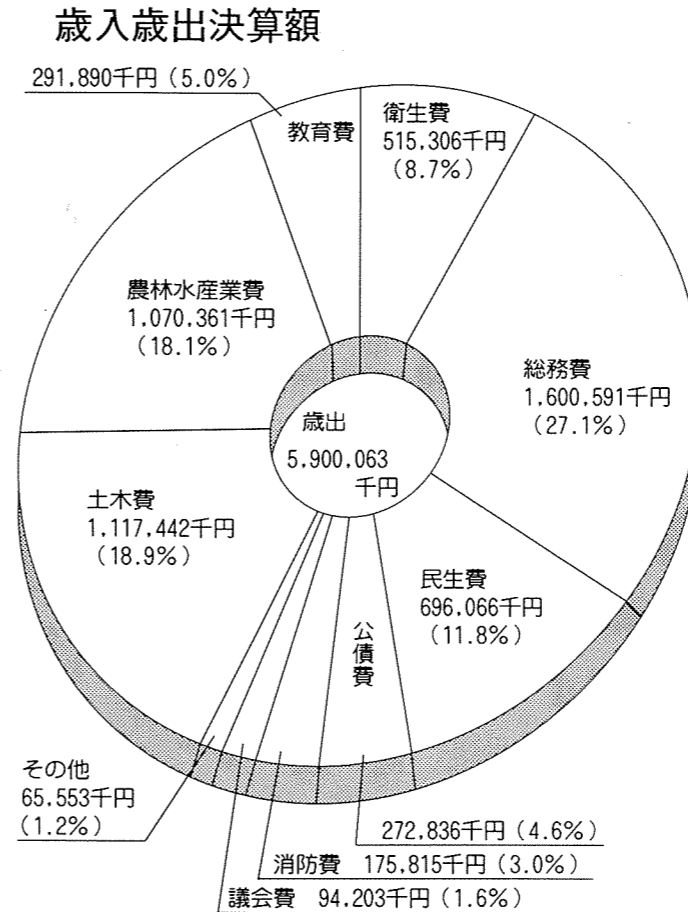
9,038人/2,251世帯 (平成6年4月1日現在)



平成6年度 一般会計



決算 59 億円



住みやすい町づくりに

一般会計、特別会計の決算が9月の定例議会で認定されましたのでお知らせします。

平成6年度の一般会計決算状況は、歳入総額が、60億579万円、歳出総額が、59億6万円となり、それぞれ前年度比0.2%の減となりました。

歳入については、冷害・不況・特別減税等により町民税は前年度に比べ減となりましたが、固定資産税^{※1}では評価替^{※2}や相馬地域総合開発関連の事業による償却資産^{※3}の課税等により前年度比9.8%増となりました。

また、地方交付税は、基準財政需要額^{※4}の地域福祉基金費が算入廃止されたことや、基準財政収入額が伸びたことにより5.2%の減。国庫支出金^{※5}は、電源立地促進対策交付金などの事業一部完了により減となったほか、地方債も、総合経済対策関連事業債の減少により35.7%の減となりました。

歳出については、公共施設等整備基金積立金、産業育成支援事業、ライスセンター建設事業などが伸びたものの、荷さばき施設などの漁港関連施設や一般廃棄物最終処分場などが前年度で完了したため、歳出全体では前年度を下回る状況となりました。

注釈 ※1 土地・家屋などにかかる税金
 ※2 適正な時価により資産等の価値を定めること
 ※3 事業につかう機械器具
 ※4 地方公共団体の標準額
 ※5 国から交付される資金

〔平成6年度に実施した主な事業〕

(単位：千円)

●電源立地促進対策交付金事業(道路整備、消防施設整備等)	688,699
●ライスセンター建設事業	376,495
●農村総合整備モデル事業	211,522
●合併処理浄化槽設置整備事業	39,074
●下水道基本計画策定	27,692
●公営住宅建設事業	61,612
●土地区画整理事業B調査	27,000
●武井地区老朽ため池等整備、鹿狼地区農免農道整備などの県営事業負担金	74,619
●海浜運動公園整備事業	25,221

〔財産の状況〕

(単位：千円)

〈公有財産〉		⑦教育振興基金	26
①土地	1,777,913㎡	⑧国民健康保険給付費 支払準備基金	75,884
建物	29,201㎡	⑨国民年金印紙 購入基金	0
②有価証券	15,265千円	⑩公共施設維持基金	99,521
③出資による権利	15,971千円	⑪地域福祉基金	172,236
〈基金〉		⑫地域活性化基金	130,000
①土地開発基金	45,232	⑬公共施設等整備基金	1,580,904
②財政調整基金	171,497	⑭ふるさと水と土保全基金	10,004
③減債基金	50,655	⑮スポーツ振興基金	1,572
④人づくり基金	25,012		
⑤地域振興基金	68,844		
⑥高齢者等に対する 肉用雌牛貸付基金	1,223		

〔町債(借入金)の状況〕

(単位：千円)

区分	金額
一般公共事業債	91,400
一般単独事業債	58,200
公営住宅建設事業債	21,000
都道府県貸付金	49,700
減税補てん債	45,300
その他	197,000
合計	462,600

町民一人当りに使われたお金

土木費 123,638円	教育費 32,296円	民生費 77,015円	衛生費 57,015円	その他 31,775円
農業水産業費 118,429円	商工費 5,666円	総務費 177,096円	消防費 19,453円	議会費 10,423円

町の65歳以上の高齢者 21% 高齢化社会に対応する老人保健法



面的な医療制度です。高齢者を迎えた方に幸せな健康生活を送っていただくために、ぜひこの制度と医療費について正しく知っていただき、この大切な制度を末長く守っていきましょう。

医者にかかる時は
老人保健法の適用の認定を受けたとき、交付される医療受給者証と保健証の両方を病院の窓口へ提出してください。

老人保健法 医療制度の対象者

◇七十歳以上(寝たきりなどのお年寄り)は六十五歳以上の方

老人医療の手続きは七十歳の誕生日を迎える中旬に本人あてに通知を出します。

※六十五歳以上の寝たきり老人とは

◇国民年金法による障害一級、二級の方

◇身体障害者手帳1〜3級(四級の一部該当)を保持する方

◇療育手帳Aを保持する方

病院で支払う 一部負担金

◇外来(通院)一カ月一千元(総合病院は診察科ごと一千元となります)

◇入院一日七百元(町民税非課税世帯は減額措置があります)

◇入院時の食事代は、一日当たり六百元(町民税非課税世帯は減額措置があります)

後で 払い戻されるもの

◇急病でやむをえず被保険者証、健康手帳、医療受給者

証をもたずに医療にかかったときの医療費。

◇医師が必要だと認めたコルセットなどの治療器具代。

◇医師が必要だと認めたマッサージ、あんま、はり、きゅうなどの施術料。

◇骨折、ねんざで柔道整復師の施術を受けたときの費用

◇輸血をしたときの生血代

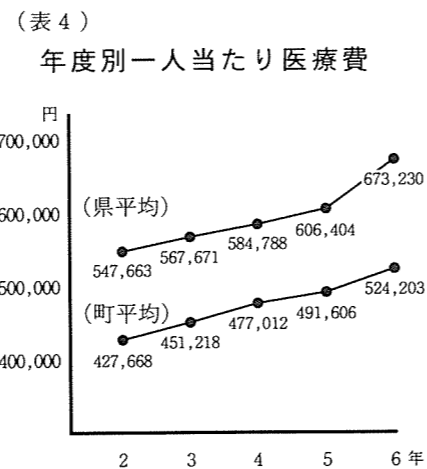
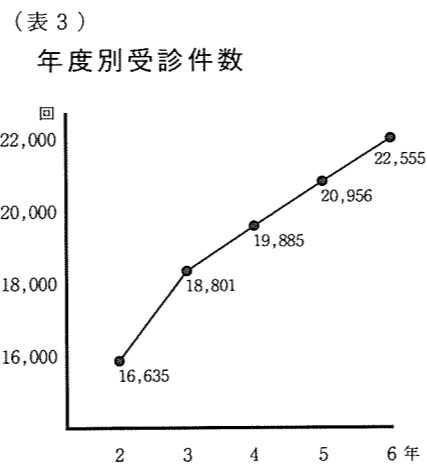
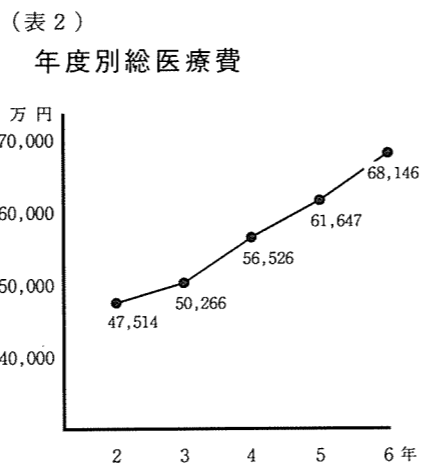
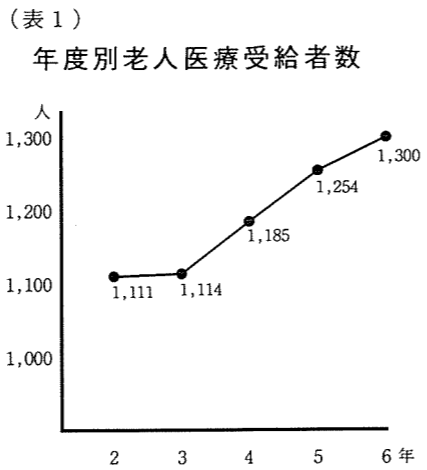
交通事故と 老人保健

交通事故などでケガをした場合でも老人保健で治療が受けられます。第三者から傷害をうけた場合、すぐに警察へ届け出ると同時に、市区町村の担当窓口へも届け出ること

を忘れないでください。事故を示談で解決する前に、担当窓口へ相談することが事故後に最善の医療が受けられる方法です。

また、高度医療設備の充実に伴う医療費は毎年着実に増加しています。(表2)

町の受診回数(表3)から見た一人当たりの医療費(表4)



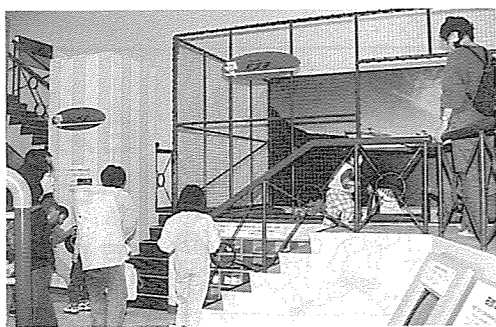
新地発電所 わくわくランド オープン

町と発電所を結ぶファミリーパーク



▲10月7日オープンした「わくわく」ランド

発電所の敷地内に建設された、ふれあい施設「わくわくランド」が十月七日オープンしました。発電所の東正面口から車でもフリーで入場でき、町と発電所を結ぶファミリーパークとして子供たちはもちろん、家族で楽しめる施設です。



▲休日には家族づれでいっぱい

施設には

- ◇体験ルーム
ボールプール、すべり台、ジャングルジムなどで遊びながら発電所の仕組みを理解できるようにしています。
- ◇子供の広場

シーズン、ゆりかごブランコ、滑り台、木馬などの木製遊具がいっぱい。家族みんなでくつろげる広場です。

◇ふれあいホール
ステージ、可動式の机・イス、各種の映写装置、音響装置を備え、各種集会や講習会などに、どなたでも利用できます。

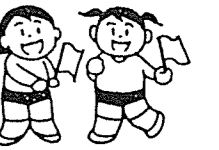
◇つばきの小径
約百四十種類のつばきや、季節感のある花木で囲み、日本庭園風を感じるゾーンです。

◇開園時間
午前十時〜午後四時

◇休園日
毎月第一・第三月曜日・年末年始(月曜日が祝日は火曜日)

お問い合わせは、新地発電所内わくわくランド
(☎ 024722)へ。

11月19日(日)号砲



ご声援よろしく申し上げます

七回目を迎える「ふくしま駅伝」が十一月十七日、白河総運動公園陸上競技場から福島県庁まで十五区間、百二十五キロメートルのコースで行われます。県内九十七市町村のうち、今年は八十八市町村が参加。町からも、二十人の強豪選手をそろえ大会に挑みます。一般から七人、高校生から六人、中学生から十五人が選手候補に挙げられ、日々練習を重ねています。皆さんの暖かい応援をお願いします。



▲気合いを入れて大会に挑む選手

インタビュー

林 浩徳監督



選手同士の交流を深めながら、毎週土曜日に町民グラウンドで練習を続け、コンディションを整えています。今回は、中学生を中心とするチームなので、のびのびとした走りが期待できると思います。新地のゼッケン番号が六十番なので、六十位以内を目指してベストを尽くし頑張ってきています。

【選手候補者名簿】

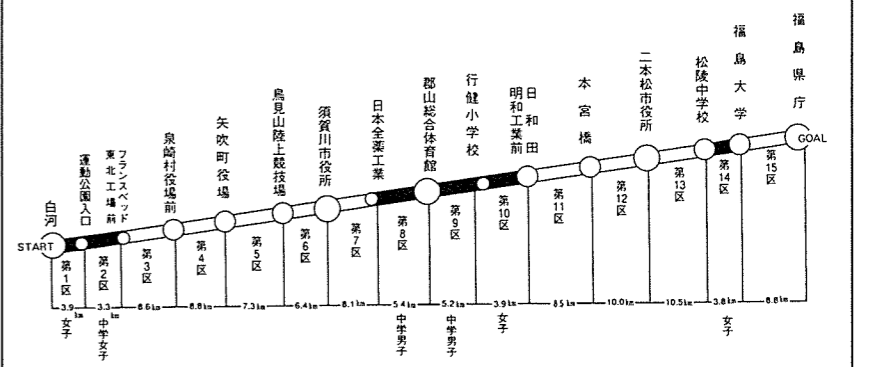
監督 一般 高生 中学生

徳泰生 孝生 伸子 和一 充幸 之子 勝明 二之志 作司 宏久 樹美 織紀 奈子 り恵
浩 憲 和 憲 武 悦 恵 正 浩 一 和 洋 宏 浩 智 健 健 正 貴 和 正 奈 香 友 春 久 か 紀
口下 藤下 藤巻 藤藤 陸 藤木 田藤 藤島 藤藤 藤木 藤藤 戸 見山 木 藤 島 田 島
林 高日 遠日 佐八 伊佐 常遠 佐石 加黒 寺黒 佐鈴 加加 水荒 伏横 鈴加 寺太 寺荒

コース図



白河総合運動公園 午前8:00スタート
福島県庁前 13:30 (予定)



保健だより

万病のもとカゼに注意!!

保健婦 岡田和子

いよいよカゼの季節到来です。だれもが、ひと冬に一、二回はカゼで悩まされた経験があるでしょう。なぜ、カゼは寒い季節に多いのでしょうか。

①カゼをおこすウイルスにとつて、低温、低湿度の寒い季節がもっとも好ましい環境で、感染しやすくなるためです。

②寒い季節には、部屋の窓やドアは閉めきりが多く、こわしたなかでカゼをひいている人がぐしゃみやせきをすれば、人から人へと容易に感染しやすくなるからです。

③寒い季節は呼吸器のはたらきが少し低下しているためです。カゼをおこすウイルスに対する抵抗力も低下し、カゼをひきやすくなると考えられます。

つまり、寒さはカゼの原因そのものではなく、カゼをひきやすくする誘因となるわけです。

カゼの予防として、もっとも大切なのは、少々のウイルスが侵入してきても、そのはたらきを抑えるだけの抵抗力を養っておくことです。そのため、過労や睡眠不足を避け、栄養のバランスがとれた食事を心がけて、体力をつ

けておくことが一番です。また過度に緊張したり気をゆるめるとカゼにかかりやすく、一方で適度な精神的緊張を保っているとカゼにかかりにくい傾向があります。また、部屋の換気や加湿、寒い所には長居をしない、汗をかいたらすぐに着替える、湯冷めをしないという点にも心掛けましょう。カゼはあまりにもありふれた病気であるために、軽く考えがちですが、注意を怠るとこじらせてしまうこともあります。

カゼをひいたら、無理をせず早めに適切な治療を受けましょう。また、人にうつさないように注意しましょう。

生活のベースは健康です。自分の健康は自分で守る。という意識をもって、日頃から生活していきましよう。

母と子の健康

健康審査等	対象者	日(曜)	受付時間	場所
マタニティ教室	妊娠中の方	11/30(木)	9時45分～10時	新地町健康センター
母子手帳交付	妊娠とわかったらなるべく早く、母子健康手帳の交付を受けましょう	11/17(金) 12/1(金)	9時～10時	新地町役場
3ヵ月児健診	平成7年7月～8月生まれ	11/17(金)	13時～13時15分	新地町母子健康センター
7-8ヵ月児健診	平成7年3月～4月生まれ	12/4(月)	13時～13時15分	
1歳児相談	平成6年9月～10月生まれ	11/15(水)	9時45分～10時	
2歳児歯科健診	平成5年7月～9月生まれ	11/30(木)	13時～13時15分	センター
ポリオ生ワクチン(小児まひ)	生後3ヵ月～90ヵ月未満(7歳6ヵ月未満)	11/28(火)	12時30分～13時	遠藤内科 医院での個別接種
三種混合(百日咳、ジフテリア、破傷風)	1期初回：生後6ヵ月～12ヵ月(3～8週の間隔をおいて3回接種) 1期追加：1期3回接種後1年～1年半後に1回接種(生後90ヵ月までなら受けられます)	12/28まで 月～土	8時30分～12時	
風しん	生後24ヵ月～48ヵ月未満までが対象年齢です。(ただし、麻しんの接種を受けた後に、風しんの接種を行うようになります)	(第2土曜日は除く) 11/1～11/30	14時～17時30分	



- ◇教育振興基金として
 - ・半田えみ子さん(小川) 5万円
 - ・相馬共同火力新地発電所 わくわくランド オープンイベント収益金 7万901円
- ◇社会福祉協会へ
 - ・故加藤ハナエさんのご意志として 加藤哲治さん(上真弓) 10万円
- ◇新地ホーム
 - ▽寄付・慰問
 - ・寺島昭幸さん(城内) 新米5升
 - ・釣師老人クラブ婦人部 布切多数
 - ・小泉マサ子さん(新地町) 牛乳パック腰掛け10個

- ◇勤労青少年ホームへ
 - ・石井敏夫さん(上真弓) 図書170冊
- ◇海浜清掃ご苦労様でした
 - ・ブルージュの会 (第4回町民の翼団員)
- ◇アトリエ(額) 2枚
 - ・早川キクエさん(新地町) 卵202個
 - ・駒ヶ嶺東老人クラブ40人 トマト多数
 - ・花壇除草・植木手入れ 施設内清掃
 - ▽ボランティア
 - ・特老ボランティア(福田、新地、駒ヶ嶺の女性の皆さん) 22回 44人
 - ・レマンの会 1回 3人
 - ・JAすずらん 3回 7人
 - ・新地漁協婦人部 1回 4人
 - ・町役場女子職員 1回 3人
 - ▽未使用のテレホンカードの寄付を呼びかけたところ10月末までに64枚の寄付がありました。ご協力ありがとうございました。今後とも引き続きご協力をお願いします。

あなたの周りの身近な話題をお寄せください。



消防団 火災に備え秋季演習

町消防団秋季演習が十月十五日、福田小校庭で行われ、消防団員、婦人消防隊約二百八十人が参加しました。火災が多く発生する季節に備え、通常点検や放水訓練など七項目にわたる演習を機敏な動作で真剣に取り組んでいました。

起震車で 地震を体験

起震車の体験が十月八日公民館などで行われ、約二百三十人が参加しました。万が一に備え、地震を体験しながら正しい知識と適切な行動を学びました。



特養ホームで イベント盛りだくさん

デイサービス運動会

デイサービス大運動会が十月六日、勤労青少年ホームで開かれ、デイサービス利用者、ボランティア約100人が参加しました。観覧者から今日は主役。仮装行列、玉入れなどの競技を楽しみながら、リフレッシュしました。

第二弾 パチンコ大会



特養新地ホームのパチンコ大会がこのほど、パチンコデルダス（春野良次社長）の協賛を得、同店で開かれ、約二十五人が参加しました。今回二回目とあつてか、手つきはおてのもの。
また、参加者全員にはステキな景品がプレゼントされ楽しく過ごしました。



リンゴ狩り

リンゴ狩りが十月十六日、サトウ農園（佐藤隆男社長）の協賛を得、同農園で行なわれました。枝いっぱい実った真っ赤なジョナゴールドをカゴ一杯にもぎ取りました。
おいしい、もぎたてリンゴをほうばりながら、参加した24人は、大満足でした。

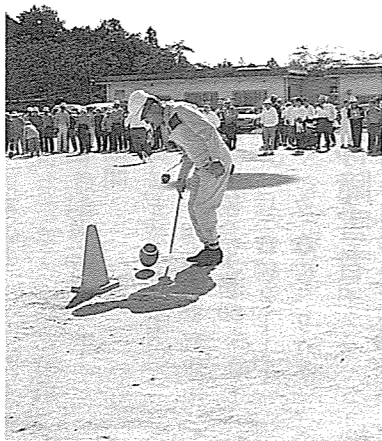
鹿狼山親子ふれあい教室で リンゴ狩り

鹿狼山親子ふれあい教室の「リンゴ狩り」が十月二十一日、パンピリンゴ園地、畠果樹園で開かれ五十四人が参加しました。畠栄七社長からリンゴの成熟過程などの説明を受けた後、待ちに待ったリンゴ狩り。九月に自分のイニシャルやイラストのシールをはり、心待ちにしてきたもので、きれいに給付けされた世界に一つしかないリンゴに大喜びがしていました。



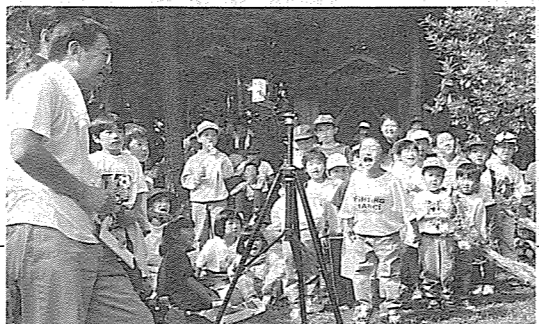
老人会が集い いきいき大運動会

「いきいき大運動会」（町国民健康保険主催）が十月十二日、公民館グラウンドで行われ、各地区の老人会員、ボランティア約六百人が参加しました。愉快な競技に汗しながら、久しぶりに会う友達と交流を深めました。
なお、優勝は大戸浜地区でした。



青少年健全育成で 地蔵森登山

福田地区の青少年健全育成事業として地蔵森登山が十月十四日行われ、家族づれなど約百六十人が参加しました。頂上では、子供たちの大声コンテスト。いっぱい清水前広場では芋煮会が行われ、地域の輪を広げました。



ふくしま国体

デモスポ・軟式野球

各種競技で奮闘

ふくしま国体デモスポ競技が十月十五日、翌日十六日には軟式野球が行われ、ゲートボール新地チーム、オリエンテールリングが二位に輝くなど好成績をおさめ、他の種目に出場した選手も奮闘しました。大変ご苦労様でした。結果は次のとおりです。

オリエンテールリング

男子の部 二五チーム中六位
女子の部 一四チーム中二位
総合 十チーム中二位



ゲートボール

杉目チーム（予選リーグ） 一勝一敗
新地チーム 二位



ウォークラリー

七十四チーム中九位

インディアカ

（予選リーグ） 一勝一敗

綱引き

男子（予選リーグ） 三敗
女子（予選リーグ） 一勝一敗

軟式野球

二回戦 二対一 開新高校（熊本県）に惜敗

お知らせ

新地町役場 / 〒979-27 福島県相馬郡新地町谷地小屋字菰崎40 TEL 0244(62)2111・FAX 0244(62)3194

児童劇公演

生の演劇をご覧ください。

入場は無料です。
日時 11月22日(水)
開場 午後12時30分
公演 午後1時～午後2時45分
場所 新地小学校体育館
内容 児童劇公演
演目 グリムのハンス大悪魔
(原作グリム兄弟)
劇団名 劇団芸優座
詳しくは新地公民館
(☎622085)

ティーボール 教室開催

ティーボール教室の参加者を募集します。
日時 11月26日(日)
午後2時～午後4時30分
場所 町民グラウンド
対象者 小学生(男女)、教諭、スポーツ少年団、父母
内容 ティーボールの内容説明の後、試合形式による実践指導
詳しくは新地公民館
(☎622111)へ。

町サッカーリーグ 参加チーム募集

町サッカー協会では、サッ

公民館・勤労青少年ホーム

こよみ 11.6～

11月	生け花教室 (午後1時30分～ 新地公民館)
8(水)	書道教室 (午後1時30分～ 駒ヶ嶺公民館)
8(水)	カラオケ教室 (午後7時～ 勤労青少年ホーム)
8(水)	着付教室 (午後1時30分～ 駒ヶ嶺公民館)
9(木)	墨絵教室 (午後1時30分～ 駒ヶ嶺公民館)
10(金)	移動ことぶき大学 (午前9時出発 新地公民館)
14(火)	手編み教室 (午後1時30分～ 勤労青少年ホーム)
14(火)	生け花教室 (午後7時～ 勤労青少年ホーム)
14(火)	カラオケ教室 (午後7時～ 勤労青少年ホーム)
15(水)	移動ことぶき大学 (午前9時出発 新地公民館)
16(木)	手編み教室 (午後1時30分～ 駒ヶ嶺公民館)
16(木)	墨絵教室 (午後1時30分～ 勤労青少年ホーム)
17(金)	3B体操 (午後1時30分～ 新地公民館)
18(土)	英会話教室 (午後7時30分～ 新地公民館)
21(火)	気功体験 (午後3時～ 新地公民館)
21(火)	生け花教室 (午後1時30分～ 駒ヶ嶺公民館)
22(水)	移動料理教室 (午前9時出発 駒ヶ嶺公民館)
27(月)	手編み教室 (午後1時30分～ 勤労青少年ホーム)
28(火)	婦人学級 (午前9時30分～ 新地公民館)
30(木)	手編み教室 (午後1時30分～ 勤労青少年ホーム)
12月	
5(火)	手編み教室 (午後1時30分～ 勤労青少年ホーム)

申請書類

原町保健所または掛かり付

けの病院

申請窓口 原町保健所

(☎621399)へ。

難病相談と交流会

難病患者とその家族のかかえる諸問題の解決、難病や障害を予防するための相談会が行われます。
日時 11月29日(水)
午後1時30分～午後3時30分
場所 原町保健所
詳しくは、役場町民課
(☎622111)へ。

精神障害者 保健福祉手帳制度

精神障害者保健福祉手帳制度ができて一カ月あまりが過ぎ、手帳交付申請が行われています。
手帳に基づく支援施策
・申請時の診断書不要
・税制の優遇措置等

平成8年度 保育所入所申請

町では、満1歳(平成8年4月1日までに満1歳の幼児を含む)から就学前の子供たちをお預かりします。
入所を希望する方は、各保育所へ入所申請をしてください。申請用紙は、各保育所、役場窓口にあります。(在所児は、児童に申請書を渡します)持参するもの
認め印、健康保険証(家族全員)、母子手帳、申請書
※当日は、お子さんの発育状況、家庭環境、家族の職業などを伺います。
留意事項
①町の住民で、保育に欠ける

●定員・申請日時

保育所名	定員(人)	申請日	受付時間
新地	150	11月20日(月)	午前9時～午後4時
浜	90	11月21日(火)	
駒ヶ嶺	90	11月22日(水)	
福田	90	11月24日(金)	

※申請日に都合の悪い方は、他の保育所の受付日に申請してください。

②特別児童扶養手当など受給の方は申し出てください。
③申請書には、民生(児童)委員の署名、捺印は必要ありません。
詳しくは、保育課(新地保育所内 ☎62277)・浜保育所(☎623130)、駒ヶ嶺保育所(☎623009)、福田保育所(☎623595)へ。

11月は青少年健全育成 強調月間です

青少年が心身ともに健康に成長するため、町民ぐるみで次のことを心掛けましょう。
1. しん 心身の健全を心掛けよう! 規律ある生活習慣や栄養バランスのとれた食事を。
2. ち 知識や教養を高めよう! 勉学だけでなく国際文化の体験や家事の手伝いを。
3. ま

11月15日～来年2月15日 狩猟解禁

11月15日から来年2月15日まで(一部毛皮獣は12月1日から来年1月31日まで)です。次の事項に注意して狩猟に努めましょう。
◇狩猟の時は必ず登録証を携帯し狩猟者記事を帽子に付けましょう。

11月9日～15日 秋の全国火災予防運動

「災害に備えて日頃の火の用心」
期間中に、消防署、消防団、婦人消防隊で、一般家庭や一人暮らし高齢者世帯の防火診断・各消防訓練・防火広報などを実施しますのでご協力お願いします。
火の用心のポイント
◇天ぷらを揚げるときは、その場をはなれない
◇寝たばこ、たばこの投げ捨ては厳禁
◇風の強い時にたき火をしない

エネルギーの新しい火が 燃える町 しんち



面積46.40km² 東西9.5km 南北7.4km

町の木/マツ 町の花/サクラ
町の鳥/キジ 町の魚/カレイ

戸籍の窓

▷町の人口と世帯

10月1日現在()内は前月比

人口	9,114人	(+28)
男	4,476人	(+9)
女	4,638人	(+19)
世帯数	2,327世帯	(+7)

9/21～10/20届出

▷出生(届出は14日以内に)

おめでとうございます。

(子供)	(親)	(地区)
平拓	弘己	目川
拓	新太	新地町
結	佐五	小川
彩	石岡	小川
明	乃花	新地町
龍		小川
野		新地町

▷死亡(届出は7日以内に)

おくりあげます。

(死亡者)	(年齢)	(地区)
渡邊	87歳	小川
黒川	65歳	小川
戸静	62歳	新地町
水星	72歳	藤崎

※この欄に掲載を希望しない方は、届出のときに申し出てください。

【今月の納税】

町 県 民 税 第3期
国 民 年 金 11月分

【水道修理当番業者】

11月5日～11日	(有)菊地建材店	☎6181
12日～18日	佐藤水道設備	☎3492
19日～25日	山内工業(株)	☎2826
26日～12月2日	花塚熱学工業(有)	☎2334
3日～9日	(株)トーヨー建設	☎5151

町長日記

荒和英

13日	産業建設常任委員会
12日	入札
11日	県港湾審議会
10日	県町村会理事會
10日	県町村会正副会長會
10日	県農業常任委員会
7日	国体炬火リレー
6日	町民の翼結団式壮行會
6日	水産庁大蔵省陳情
5日	常警道陳情
2日	辞令交付
1日	炬火リレーリハーサル
10月	相馬地方広域圏議會
29日	町民ゲートボール大会
26日	釣師地区運動會
23日	2号機竣工祝賀式
22日	相馬共同火力新地発電所
21日	尚英中運動會
19日	(～28日まで)
18日	9月定例議會

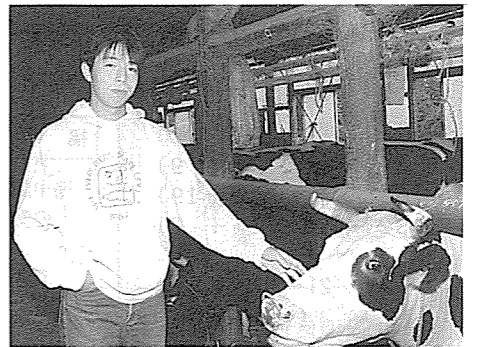
みんなのひろば



将来は家業の酪農を

水戸崇宏さん (20歳・杉目)

頑張るマン ♠️



崇宏さんは、今年三月農業短大を卒業後、四月から相馬地方酪農ヘルパー利用組合に勤務しています。仕事の内容は酪農家に赴き、乳牛に餌を与え、搾乳などを代行しています。相馬郡内を三人体制で請け負っているの

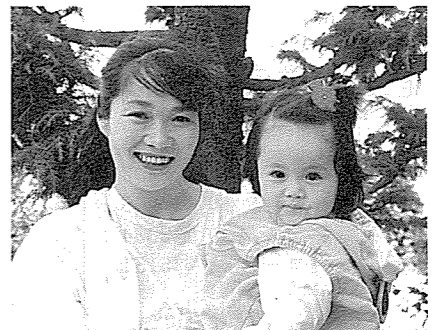
り九時ごろまで働いている頑張るマンです。崇宏さんの趣味は、週に一度、テニスサークルに通い、また休日になると友達とボーリングを楽しむそうです。「今は修行をしているんです」と話し、「現在は酪農家が減ってきているので、自分は稼業の酪農を継ぎ守っていきたい」と、将来の夢を語ってくれました。

毎の文芸 野ぶどう会

初菖の香りただよう夕仕度	荒	やす子
カタコトと馴れぬ鼻緒で墓参り	寺島	ユキ
木犀の匂ふ古つぼ流れ雲	高橋	トク
曼珠沙華燃える木下の石佛	佐藤	都
秋桜たすけ合いつゝ花のゆれ	佐藤	芳子
秋旅を終えて安心葉風呂	野地	せい子
富山路は稲刈り始む山険し	斎藤	とも子
児は鼻にころび傷負ひ天高し	辻	麗ら



わが家のアイドル



佐藤麻理奈ちゃん (十一ヶ月・渋民)

晴れた日は、ママと一緒に散歩に行くのが大好きな麻理奈ちゃん。やっと、言葉がわかるようになって「パパ」「ママ」とお話しができるようになりました。「元気に育ってほしいですね」とママの由香理さんからのメッセージ。



おみやげ



あみ けいこ さん
(昭和49年2月18日生まれ 杉目)

親切な案内を目指したい

十月にオープンした『わくわくランドグリーンウィング』に勤務し、コンパニオン、ガイド、事務などを担当しています。「神経を使う仕事ですが、お客さんから『ありがとう』といわれた時がうれしい」という佳子さんにインタビューしました。

- ◇趣味は ☆旅行が好きで、群馬県や長野県まで温泉旅行にでかけたこともあります。
- ◇休日には何を ☆友達と一緒にショッピングをします。
- ◇これから始めたいことは ☆九月に新車を買ったばかりなので、紅葉がりなどドライブをしたいですね。
- ◇最近の目標はありますか ☆早く仕事に慣れて、お客様に喜ばれる案内をしたいと思っています。
- ◇将来の夢は ☆幸せな結婚がしたいですね。
- ◇理想のタイプは ☆性格がやさしい年上の方がいいですね。

菊と語りつづけて

岡崎しけのさん (86歳・作田)



「今年の出来はあまりよくなかったけれど、咲いてくれるとうれしいね」と話すしけのさんは、親戚が栽培していた菊に魅せられ、七年ぐらい前から、みようみまねで菊を栽培し、十種類以上四十本の菊を、家の軒下に満開に毎年咲かせています。それまでするには、根の仮植、鉢植え、水かけや除草剤など一年を通して丹精込めた作業を行っています。しけのさんは「家族

に迷惑をかけたくないから」と、手入れはすべて自分。菊栽培は趣味の一つでもあり、健康の秘訣にもなっています。菊の他にもシンビジウム、ランなど多くの花を見事に咲かせています。しけのさんは、長男ご夫婦と三人暮らし。「甥や姪、孫がよく遊びにくるんですよ」と話す笑顔は、幸せそうに見えました。

おじいちゃん おばあちゃん

鶏肉のチーズ揚げ



材料 (4人分)

- 鶏もも肉 300g Aしょうゆ 大さじ1
- 小麦粉 適宜 油 大さじ1
- 卵 1個 ごま油 小さじ2
- 水 大さじ2 こしょう 少々
- Bパン粉 1カップ
- にんにく 1かけ
- 粉チーズ 大さじ3

作り方

- ①鶏肉は縦半分になり、一口サイズに切る。鶏肉は火がとりにくいので薄くそく。Aの調味料に20分くらい漬けて下味をつける。
- ②Bのパン粉、にんにくのみじん切り、粉チーズを混ぜる。卵は溶きほぐし水を加えて混ぜる。
- ③下味つけた鶏肉に小麦粉をまぶし溶き卵をつけ、Bを全体に付けて表面色よく揚げる。

しんちの語り部たち③

ここに掲載される物語りは、お年寄りの幼いころの体験談、ラジオもなかった時代に父母や祖父母から聞いた話などを集めたものです。

昔の人々が折りに触れ、ことに触れ、話題にのぼった事柄から、新地の地域性をいくらかでも感じていただければと思います。

お羽山さまの話

◇ ◇ ◇
語り

荒 保治氏

(福田・明治二十六年八月二十七日生まれ
昭和四十九年十二月二十四日逝去)

昭和四十六年十月十七日談



お羽山様の御神体
といわれている (真弓)

もちを供えて

祈願

五社壇の頂上には五柱の神様が祀られてあるが、お羽山さまは、その代表的な神様といわれている。

昔は地元で講中があつて、旧暦の十月七日の晩に集まり、餅をつき夜ごもりをし、翌八日の明け方に、昨夜の餅を持って五社壇に登り、お羽山様にお供えして、五穀豊穰・家内安全・火難盗難よけを祈願した。

餅といっしょに小さな^{もみだち}糰子に今年の^{もち}餅を入れてもつていき、それをお供えして今年の収穫を感謝し、来年の豊作をお願いする。そして、その^{もち}餅をいただいたて帰り、一同で少しずつ分けて、来春の^{もち}種^{もち}にまぜて蒔いたものだった。

信仰すると大漁に

お羽山さまは、浜の漁師たちもたいへん信仰していた。この山は、舟が沖に出た時、漁場の目印としても大切だったし、信仰すると大漁になるといわれていた。
浜の人たちは、大漁の時は必ず魚を持って参詣した。と

ころが、漁師たちのなかに有り難い神様だから、近くにあるべしよつちゅう参拜できる。そうなればもつと大漁になること間違いなしだという話がもちあがった。

お羽山様が

ある日消えた

浜の人たちだから気が早い。たちまち話がまとまり血気にはやる若者が、人目につかぬように五社壇に登り、お羽山さまの御神体を浜に移すことに成功した。

そして小高い丘の土の下にかくして、その上に大きな石を置き、浜の人にしか分からないようにした。

◇ ◇ ◇

「しんちの語り部」たちは、目黒美津英教育長の「聞き書きノート」を基に広報担当で編集したものです。

広報では、昔の体験談、実話、物語り、古い写真などを募集します。

あなたの知っていることなら何でも結構ですので、企画振興課 広報担当(☎②2111)までご寄せください。

表紙に寄せて



大島先生は、3歳の時、ご両親からプレゼントされた足踏みオルガンとの出会いによって、音の世界に魅了され、音楽の扉を開けたのでした。

こちら 編集室

十月十九日、平田村広報委員会の皆さんが広報の視察にいらっしやいました。つたない広報にもかかわらず、平田村の皆さんの広報に対する熱意に触れ、そして励ましの言葉をいただきました。今まで知らなかった方々と交流が持て、勉強をさせてもらい、広報をやってよかったとつくづく思います。
広報でお気づきの点がありましたら、ご指導いただきましたと思います。(M)